

23 地域保健・福祉・環境関係職員研修

多様化する住民ニーズや価値観・ライフスタイルの中で、住民の生活に密着した身近な課題について、きめ細かく総合的なサービスを提供していくためには、地域保健・福祉・環境を担う人材の育成が重要となっています。

そのため、当センターでは、保健・福祉・環境関係の基礎的知識の習得を目的とした「一般研修」と専門性向上を目的とした「実践研修」による「地域保健・福祉・環境関係職員研修」を実施しています。

また、管内市町および当センターの代表者による企画検討委員会を設置し、研修の企画・立案、評価・検証を行っています。

表1 地域保健・福祉・環境関係職員研修実施状況 (平成29年度)

実施日	内容・講師	人数
平成29年 4月27日	テーマ:災害発生時の避難所立ち上げ 講 師:福井大学医学部看護学科 酒井明子 教授 ○講義 「大規模自然災害時の住民支援」～避難所の立ち上げについて～ ○演習 「避難所立ち上げの実際(グループワーク)」	39
5月10日	テーマ:データ分析 講 師:当センター 四方医幹 ○講義 「医療・健診・介護等 新標準データセット」 データ読み取り	36
8月25日	テーマ:効果的なチラシの作り方 講 師:当センター 四方医幹 さばえNPOサポート広報担当職員 松田恵 氏 ○講義 「効果的なチラシを作る時のポイント」～保健情報の見せ方～ ○演習 「実際にチラシを修正してみよう」	30
10月19日	テーマ:クレーム対応 講 師:臨床心理士 齊藤荘二 氏 ○講義 「クレームに潜んだメンタルヘルス問題の対応について」 ○事例検討	41
10月25日	テーマ:災害発生時の要配慮者対応 講 師:福井大学医学部看護学科 酒井明子 教授 ○講義 「大規模災害時の要配慮者支援」 ○演習 ①要配慮者トリアージ②研修後に行政はどう行動すべきか	41

※会場:当センター 対象者:福井市・永平寺町・当センター職員

表2 地域保健・福祉・環境関係職員研修企画検討委員会実施状況 (平成29年度)

実施日	開催場所	内容	人数
平成29年 5月17日	当センター	・平成29年度研修計画	10
平成30年 3月7日	当センター	・平成29年度の研修の実績報告および評価 ・平成30年度研修計画	10

24 研修生・実習生の受入れ

1 臨床研修医師の受入れ

当センターにおける多様な業務を理解、体験することで、医師として必要な公衆衛生活動に対する具体的な知識、態度等を身につけることを目的に研修医の受入れを行っています。

表 1 臨床研修医師受入状況 (平成 29 年度)

医療機関名	期間	人数
福井大学医学部附属病院	平成 29 年 9 月 1 日～10 月 31 日	1
	平成 29 年 12 月 1 日～12 月 31 日	1

2 実習生の受入れ

地域における保健福祉の行政機関としての当センターの機能、役割を知り、実際の体験を通して理解を深めることを目的に、医学生、看護学生、管理栄養科学生等の実習生の受入れを行っています。

表 2 実習生受入状況 (平成 29 年度)

学校名	種別	期間	人数
福井大学医学部医学科	医	平成 29 年 5 月 19 日～6 月 30 日 ※毎週金曜日 7 日間	6
福井県立大学看護福祉学部看護学科	看護	平成 29 年 4 月 11 日～4 月 14 日 平成 30 年 3 月 1 日	7 38
福井大学医学部看護学科	看護	平成 29 年 6 月 12 日～7 月 7 日 平成 29 年 12 月 4 日～12 月 15 日	3 3
神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程 園田学園女子大学人間健康学部食物栄養学科	栄養	平成 29 年 9 月 7 日～9 月 13 日	2

25 学校保健と地域保健の連携

地域保健対策の推進に関する基本的な指針が平成24年7月に一部改正され、その中で、ライフステージを通じた正しい生活習慣の確立のためには、生活習慣が形成される時期に展開される学校保健と地域保健とが密接に連携することの意義が極めて大きいとされています。

これまでも各種業務や情報交換等、様々な形で連携を継続しており、平成29年度は、市町養護教諭部運営研究会での情報提供などを通して、健康福祉センターが保有する専門知識や技術を教育の場に提供しています。

平成29年度実施状況

内 容	回 数
情報提供・普及啓発 (薬物乱用防止、歯科保健関係等)	2 * 養護教諭研修会時